

～男女が共に創る住みよい地域社会の実現に向けて～

区・自治会の女性役員登用状況調査結果

問合せ 生涯学習課生涯学習係 ☎72-2101 (内線634)

区・自治会において、女性の参画が求められていますが、令和元年度の区・自治会長を対象とした調査では、女性役員がいる区・自治会は、全体の22%でした。

このような中、どうしたら女性役員を増やし、地域に女性の意見を活かしていくことができるか、女性が役員となることの支障は何かを確認するため、区・自治会の役員を経験された女性を対象にアンケートを実施しました。

アンケートの結果、団地や移住者が多い地域、住民が少ない地域では、女性も区・自治会の運営に参加し、意見を述べる機会が多いことが分かりました。

また、女性が一人だけの会議や、懇親会の参加についての負担感など、大変だったことが挙げられました。一方、役員を務めたことで、多くの人と知り合い、区・自治会の活動について理解が深まったとの意見もいただきました。

区・自治会に女性役員が増えることで、役員の担い手不足の解消や、女性ならではの発想・意見を活かすことが期待できます。

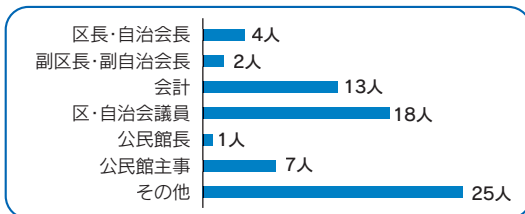
アンケートにおいては、女性役員を増やすための工夫やアイデアもいただきました。

ここに調査結果や意見の一部を紹介しますのでご覧ください。

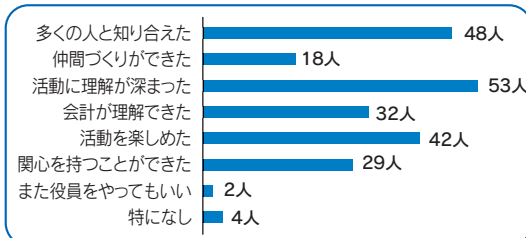
なお、結果の詳細は市のホームページに掲載しています。

○茅野市の区・自治会において、役員を経験された女性 回答者数70人(回答率42%)

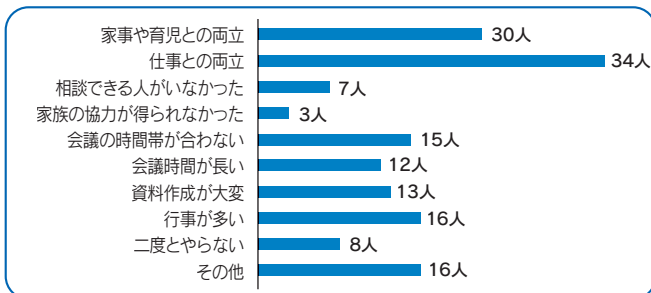
■どんな役職を務めましたか



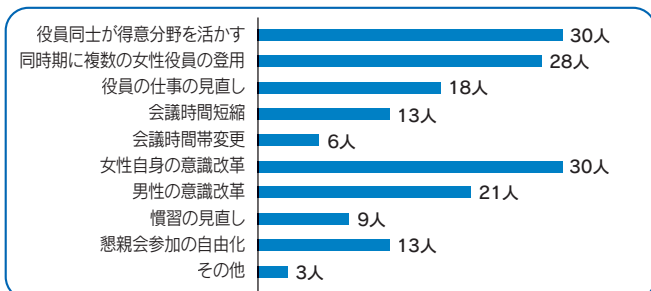
■役員をやった良かったこと(複数回答可)



■役員をやった困ったこと、大変だったこと(複数回答可)



■女性が役員を務めるために必要なこと(複数回答可)



■女性役員を増やすための工夫、アイデア

- ・区議員の内1名は女性にしようと取り組んでいる。
- ・女性の役員が複数いる体制ができれば、女性同士協力もでき、意見も出しやすい。

- ・女性では、無理だと思ふ役職もある。役員決めの際、話し合いを行い、女性ができる役を引き受けた。

- ・男女問わず、適任の方をお願いする。

- ・日頃から、できるだけ地区の行事に参加し、回覧等で情報を得るように心がけると、役員をするときの心構えができる。

- ・皆で協力してやろうと思えば気持ちも軽くなる。

■女性の負担感

- ・会議後の飲み会を負担に感じている。

- ・セクハラがある。セクハラについて認識してほしい。

- ・「女性は無知」など、女性に対する差別意識がある。

■意見

- ・女性のできる事、無理な事を判断し、気楽に参加できるように工夫が必要。行事等自由参加になれば少し楽になると思う。

- ・一緒に活動する役員(特に長)の理解が必要不可欠。

- ・区・自治会の女性役員が集まり、意見交換ができる場ができれば良いと思う。

- ・地域にとって、男女双方の意見があった方が平等になる。

- ・区・自治会の運営は、男女の区別なくできることをする。

- ・女性が地域で活躍するためには、男女とも意識を変えていくことが必要。

- ・女性が区・自治会の仕事をするためには、家族や地域の協力が必要。